

留 学 報 告 書

記入日:2017年6月25日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: フットヒル・カレッジ 現地言語: Foothill College
留学期間	2016年8月～2017年6月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年7月8日
明治大学卒業予定年	2019年3月

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料		1,060,000 円	秋\$2967, 冬\$2780, 春\$3154
宿舍費		1,010,000 円	ホームステイ\$1150×3ヵ月 \$710×7ヵ月
食費		300,000 円	\$300×10ヵ月
渡航旅費		200,000 円	JAL
その他		円	
合計		2,570,000 円	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
	アパート
2)部屋の形態	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3)住居を探した方法:	
	Facebook
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
	ホームステイは非常に高いので、Foothill College の学生コミュニティ Facebook などに登録し、部屋を探すことをお勧めします。
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
	<input type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した: 大学内で \$5 でインフルエンザのワクチンを打ってもらうことができます。
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
	大学内にカウンセリングルームがあります。
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
	SNSや留学先地域の大使館からのメールで情報を得ていました。
4)パソコン, 携帯電話, インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
	Softbank だと、日本の携帯を、そのまま無料でアメリカでも使用することが出来ます(アメリカ放題)。ギガ数も減らないため、通信制限になることもありません。
5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
	基本クレジットカードで生活し、現金が必要などきのみクレジットカードで現金を下ろしていました。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
	薬。アメリカの薬は成分が強すぎることもあるので、日本から薬を持参することをお勧めします。
7)授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った, 渡航前に留学先大学から指示があった, 渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)	
	渡航後、授業登録した後に支払期間が設けられました。
卒業後の進路について	
留学を通して生じた, 今後の進路についての考えについて教えてください。	
	私の将来の夢のひとつは、国際線キャビンアテンダントとして就職することです。このアメリカ留学で学んだコミュニケーション学は、違う文化背景や価値観を持つ人とのコミュニケーションの支障を減らすことができ、それは私の強みになりました。そして、この1年間で向上した英語能力もまた自身の強みとし、それらを生かせる職に就く所存です。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
32 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 16 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intercultural Communication	異文化間コミュニケーション
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	2016 秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式とオンライン(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に講義 110 分が 2 回とオンライン 60 分が1回
担当教授	Douglas F. Threet
授業内容	様々な観点から考えた異文化間コミュニケーション
試験・課題など	週に 1 回のレポートとオンラインディスカッション、学期中 3 回ほどの授業内論述テスト、3回ほどのプレゼンテーション。
感想を自由記入	先生がすごく優しい方で英語も聞き取りやすく、課題は多めだったが取ってよかったと思えた授業のひとつ。授業内ディスカッションが毎回あるので、クラスメイトとも仲良くなりやすかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
General Psychology	一般心理学
科目設置学部・研究科	Psychology
履修期間	2016 秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式とオンライン(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に講義110分が2回とオンライン60分が1回
担当教授	Sarah Strader, Ph.D.
授業内容	全て分野の基礎心理学
試験・課題など	週に1回のオンラインディスカッションと、学期中2回ほどのプレゼンテーションと、3回の大きなテスト。
感想を自由記入	文系の私には化学反応や数式が非常に難しく、とても大変だった。また授業が朝の8時半というのもあって、カリフォルニアの朝は非常に寒いので、脳を働かすことが大変だった。しかし、グループワークなどを通してたくさんの友達が出来たいい授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Interpersonal Communication	対人コミュニケーション
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	2016 冬学期

単位数	5
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式とオンライン(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に講義 110 分が 1 回とオンライン 180 分が1回
担当教授	Preston C. Ni
授業内容	対人コミュニケーション力の向上を図るための知識提供
試験・課題など	毎週日曜日に1時間のオンラインテストがあるため、2時間のオンライン講義を受ける。学期中3回の大きなテストと数回のレポート。
感想を自由記入	先生の英語が非常に聞き取りやすく、とても楽しい授業だった。また、レジュメも分かりやすく丁寧に箇条書きにされているので、要点がすぐ理解できた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Self Assesment		自己評価	
科目設置学部・研究科	Career Life Planning		
履修期間	2017 春学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に110分が 2 回		
担当教授	Andy Lee		
授業内容	就活に役立つ内容。細かく自己分析をしたり、効率的なレジュメの書き方など。		
試験・課題など	毎週オンライン課題が1、2個と学期中2回のプレゼンテーションと3、4回の大きなレポート。		
感想を自由記入	先生が非常に優しく面白い方で、教室全体が毎回笑顔に包まれてた。分かりやすく自己分析するためにクイズなども用意されていたりと、とても分かりやすい授業だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Career Leadership Communication		キャリアリーダーシップコミュニケーション	
科目設置学部・研究科	Communication		
履修期間	2016 冬学期		
単位数	5		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンライン(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間にオンライン300分が1回		
担当教授	Preston C. Ni		
授業内容	リーダーシップについて。リーダーに必要な能力など。		
試験・課題など	毎週日曜日にテスト。5時間のオンライン講義。学期中数回の大きなレポート。		
感想を自由記入	Interpersonal Communication と同じ先生。オンライン講義も非常に分かりやすく丁寧だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Honors Photography of Multicultural America		多文化社会アメリカにおける写真学(上級)	
科目設置学部・研究科	Photography		
履修期間	2017 春学期		

単位数	4
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に240分が1回
担当教授	Ron Herman
授業内容	写真の基礎知識。歴史に沿った写真から見解を得る。
試験・課題など	毎週1回のオンラインテストと、学期中3回の大きなレポートとディスカッション。
感想を自由記入	写真から真の歴史に迫ったり、今の世界情勢を考えたりと、非常に興味深い授業内容だった。パールハーバーについての講義では、日本人ということもあって興味深く面白かった。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2015年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	TOEFL 勉強
10月～12月	最終 TOEFL が 11 月末
2016年 1月～3月	留学先が決定。VISA の取得は早めにするべき。
4月～7月	ホームステイ先やワクチン接種などすべきことがたくさんある。
8月～9月	授業が始まるのは 9 月の後半だが、オリエンテーションが 8 月にあるため 1 か月早く渡米。この期間に英語のクラスを決める ESL のテストを受験。
10月～12月	日本の大学と違い、毎週レポートやテストがある。また、それに加え 2 か月半の期間に中間と期末もある。
2017年 1月～3月	冬休みは約 2 週間。すぐにまた忙しい 2 か月半が始まる。
4月～7月	春休みも約 2 週間。フットヒルカレッジはクォーター制なので、6 月 30 日まで学校がある。
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	アメリカにおける学校生活やホームステイなどを通して、異なる言語や文化、価値観を持つ人と生活することにより、日本では得られない経験や知識に触れ、吸収することが可能だからです。また何よりも、英語の習得に焦点を当て、英語でコミュニケーションをとり、英語で物事を考えて生活することは、英語習得にとっての近道だと考えたからです。そのような機会は、日本ではなかなか得ることが出来ないため、アメリカへの留学を決意しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学中は膨大なレポートやテストがあるので、なるべくたくさんの単語を覚えておくことと留学後とても役立ちます。加えて、文法や難しい言い回しが分からなくても、単語さえ知っていると意思疎通が図れます。また、日本食は海外の人にとっても人気です。基礎的な日本食を作れるようにしておけば、ホストファミリーに喜んでもらえたり、友達作りに役立つと思います。更に、アメリカ人は質問が大好きです。日本人代表として日本人的見解を追及されることが多々あるため、新しいニュースをいち早く知り、自分はどうか考えるようにしておくことをお勧めします。
この留学先を選んだ理由	フットヒルカレッジは全米で一番治安が良いと言われるシリコンバレーの中にあり、シリコンバレーで働く人に囲まれながら勉学に励むことは、自分への刺激になると考えたこと、自然が多いからです。また、フットヒルではコミュニケーション学が発達しており、ある3つの授業を取ると、就活に役立つ資格を取得できるため、この大学を選びました。その他にもフットヒルは、スタンフォード大学と提携している授業課題などがたくさんあり、内容も深く、自分のためになると考えたからです。
大学・学生の雰囲気	フットヒルカレッジはカリフォルニアの中で一番、ユニバーシティへの高いトランスファー率を誇るカレッジです。学生は土日を返上し勉学に励んでいます。校舎は新しくどこも綺麗で、山の中にあるので自然に囲まれています。とても綺麗です。クラブ活動はそれほど熱心ではありませんが、男女ともにサッカー部が強いとのこと。学生食堂では毎日のようにイベントが行われ、学生が和気あいあいとしています。毎週水曜日にはカレッジの中心の広場で無料でピザや飲み物が配られ、勉強の息抜きに学生も先生も楽しむ時間があります。
寮の雰囲気	フットヒルカレッジには学生寮がありません。そのため、友達を作る機会がほかの大学に比べ、少ないかもしれません。
交友関係	学生寮がないため、留学当初は友達作りが難しかったです。しかし、ボランティア活動やクラブ活動に参加することで、友達がたくさんできました。また、講義のクラスでは、ディスカッションやグループワークがたくさんあり、授業の間により多くの友達が出来ました。また、体育の授業がたくさんあります。単位数は1単位なので明治では認定されませんが、友達作りには最適の場です。英語があまり話せなくても運動を一緒にすることで、私は本当に仲のいい友達が出来ました。
困ったこと、大変だったこと	授業中にフィードバックやディスカッションがたくさんありましたが、英語を読むスピードがネイティブスピーカーに比べ格段に遅いので、時間内に終わらないことが多々ありました。また、課題にかける時間も彼らの2、3倍かかるため、課題の多い授業を選ぶと、慣れるまでは課題だけで1週間が終わっていました。また、私たちのような短期の海外留学生は授業登録の優先順位が最後で、楽しそうな授業をとることが難しかったです。オンラインの授業と組み合わせ、カウンセリングや教授に直接交渉することをお勧めします。
学習内容・勉強について	私はコミュニケーション学を中心に授業を取っていました。教授や学生もコミュニケーション学に興味があるだけあって、和気あいあいとした雰囲気、すぐに溶け込むことが出来ました。心理学の授業では専門用語が多く、翻訳機に頼るばかりで大変でしたが、教授もクラスメイトもとても協力的で、時間を余分に与えてくれたり、アドバイスもたくさんくれました。中国人はたくさんいるのですが、日本人は少ないため、どのクラスでも日本人的見解に興味を持ってくれるため、面白かったです。
課題・試験について	課題量は信じられないくらい膨大でした。1つの授業で、週に2回のレポートに加え、1つのプレゼンテーションとオンラインディスカッションがあることもあり、慣れるまでは本当に友達と遊ぶ時間ありませんでした。それほど大変なので、必ず自分の興味のある授業を取るべきだと思います。例えばどんなに難しい課題でも、時間をかければ必ずやり遂げることができ、達成感を得ることが出来ました。また、課題やテストを1つずつこなしていけば必ず単位を修得できたため、やりがいを感じることも出来ました。

大学外の活動について	同じホームステイ先の学生に勧められてボランティアサークルに所属し、月に 1 回ほどボランティア活動に参加していました。ボランティアでは無料で食事が配られたりと、うれしい特典もありました。また、学生 VISA のためアルバイトは出来ませんが、私は運よく、とても仲のいい友人が近くで日本食レストランを営んでいたため、大学外でも現地の人々と交流するため、そのお店によく遊びに行き、お客さんと交流していました。日本食レストランにくる外国人は日本に興味のある人が多く、とても会話が弾み、彼らが日本にどんなイメージを持っているかを知ることが出来たことは、貴重な経験でした。
留学を志す人へ	留学先での学習量は膨大で、吸収すべきことがたくさんあります。辛く大変なこともあります。何でも楽しんで励んでください。アメリカの大学には、単位を楽に取れる授業はありません。必ず自分の身になると信じて、1 つずつ課題や試練を乗り越えていきましょう。また、友達作りの際は、自分から勇気を振り絞ってどんどん前に出しましょう。アメリカ人は面白い人が大好きです。日本人は考え過ぎる傾向がありますが、あまり気にせず、積極的に何事も挑戦してください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
	授業	課題	授業	課題	自由時間	自由時間	自由時間
午後	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ
	授業	授業	授業	授業	自由時間	ボランティア	課題
夕刻	ジム (自由時間)	ジム (自由時間)	ジム (自由時間)	ジム (自由時間)	ジム (自由時間)	ジム (自由時間)	ジム (自由時間)
夜	課題	自習	課題	自習	自由時間	課題	課題